

問 少子高齢化に対応できる今後の公園づくりをどのように考えているか伺う。

市長 これまでの公園は、いろいろ課題と言われるところがあります。地域のニーズは相当多様化していますがそれに十分応え切れていない側面もあります。また、少子高齢化に伴い公園を取り巻く環境は変化しています。市としては地域の特性、例えば高齢者の利用頻度とか、子どもたちの状況も踏まえながら、また管理等も地域の皆さまと自由な発想で一体となつて行い、身近な公園を整備したいと思えます。

問 千年希望の丘周辺の遊歩道整備計画について伺う。

市長 千年希望の丘は15の丘と丘をつなぐ植栽をした園路を、相野釜から新浜まで約10キロにわたりに整備をします。園路は、太平洋や蔵王を望みながら、再生した湿地帯や花畑を見渡しながらウォーキング等が可能です。帰りは新浜から貞山堀の堤防を経由して、相野釜に戻る約20キロのコースや小舟



健康先進都市にふさわしい公園と運動場づくり

森 繁男



で歴史的な景観を楽しむ川下りの活用も考えています。遊歩道以上の価値があると思えます。

多目的グラウンド設置を

問 千年希望の丘周辺に運動施設として多目的グラウンドの設置要望がある。整備計画について伺う。

市長 グラウンドを造るとすれば、多目的なグラウンドがよいのは分かります。多目的グラウンドがあった方がよいということも分かります。しかし、千年希望の丘周辺に今の段階で多目的グラウンドを整備する計画はありません。将来の土地利用方針を考えていかなければなりません。県の方で岩沿海浜緑地内にスポーツ施設等の整備を進めることになっていきますので、状況を踏まえながら検討が必要だと考えています。

問 東部地区にある唯一のいら塚古墳の現況を伺う。

教育長 津波による堆積物により、10メートルから15メートルぐらい被っています。墳丘自体には枯れた木が生えていましたが、墳丘に影響はなかったと認識しています。

問 埋蔵文化財包蔵地については、パトロールを行い、県にその状況を報告することになっている。震災後の報告内容を伺う。

教育長 平成23年8月23日にパトロールを行いました。その中で、東日本大震災の津波による堆積物が10メートルから15メートルの厚さで堆積しているという状況を12月8日に県に報告しています。

問 平成19年2月、22年9月の一般質問で、いら塚古墳から出土した埴輪、土師器等の出土品の所在について質問した。その後の調査結果を伺う。

教育長 いら塚古墳から出土した遺物については、玉浦中学校に寄付したという記述があり、中学校に確認させましたが、ありませんでした。また、玉浦小学校にも確

認させましたが、無いという返事をもたらしたので、今のところ不明です。

いら塚古墳を保全しては

問 古墳周辺は、メガソーラー事業の予定地にある。滅失の危機にさらされないよう保全していただきたいがどうか。

市長 メガソーラー事業については、基本的に地盤に手を加えることはなく、現在の地形をそのままにしてメガソーラーパネルを設置します。臨空メガソーラー株式会社は、この予定地に文化財があることを十分承知をしていますので、それらを踏まえた事業計画になると思えます。

問 いら塚西遺跡は、東日本大震災で唯一標柱が流失した遺跡である。今後、標柱を設置する際は、説明板も併設し、震災で流失した経緯などを明記して後世に伝えてはどうか。

教育長 その辺を踏まえて設置したいと思えます。



被災した文化財の保全

櫻井 隆